書式第８号（法第１０条・第２５条関係）

設立・定款変更用

令和２年度　　事　業　計　画　書

特定非営利活動法人レスキュー・ハブ

１　事業実施の方針

令和 2 年度においては、主として都内、状況によっては首都圏における繁華街等、街頭でのアウトリーチ事業を中心に実施し、支援を必要とする青少年を的確な社会資源へつなぐと同時に、これら支援に係る公的機関等と意見交換を行い、被害者に必要とされる組織横断的な支援の在り方について協議し、提言を行う。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【 857,760 】円　）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（円）
対面アウトリーチの実施と性に係る困難や生きづらさを抱える青少年等への支援の提供	街頭アウトリーチを実施し、左記の状況を抱える青少年等への孤立や被害の深刻化を防ぐため、声かけ、相談カードの配布などを実施。相談に繋がれば、的確な社会資源へと繋げる。	毎月２回程度を想定	首都圏における繁華街等を想定	延べで100人を想定	首都圏繁華街等において性に係る困難や生きづらさを抱える青少年	延べで1,000人を想定	800,000
公的機関はじめ外部団体等との協働体制の構築	街頭アウトリーチから見える可視化されにくい被害実態の共有ならびに、必要とされる支援、組織横断的な支援体制の構築に係る提言の実施	年３回	警察および関係各省庁、自治体等	６人	左記関係各機関において国籍問わず児童、青少年、女性等の安全に係る担当者	50人を想定	30,000
啓発活動および政策提言の実施	中央省庁、自治体、議員に対する情報共有、意見交換等の実施	年３回	永田町、霞が関、首都圏県庁所在地等	３人	主として国籍問わず児童、青少年、女性の安全に係る担当者	20人を想定	27,760

（２）その他の事業　　（事業費の総費用【　　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費（千円）